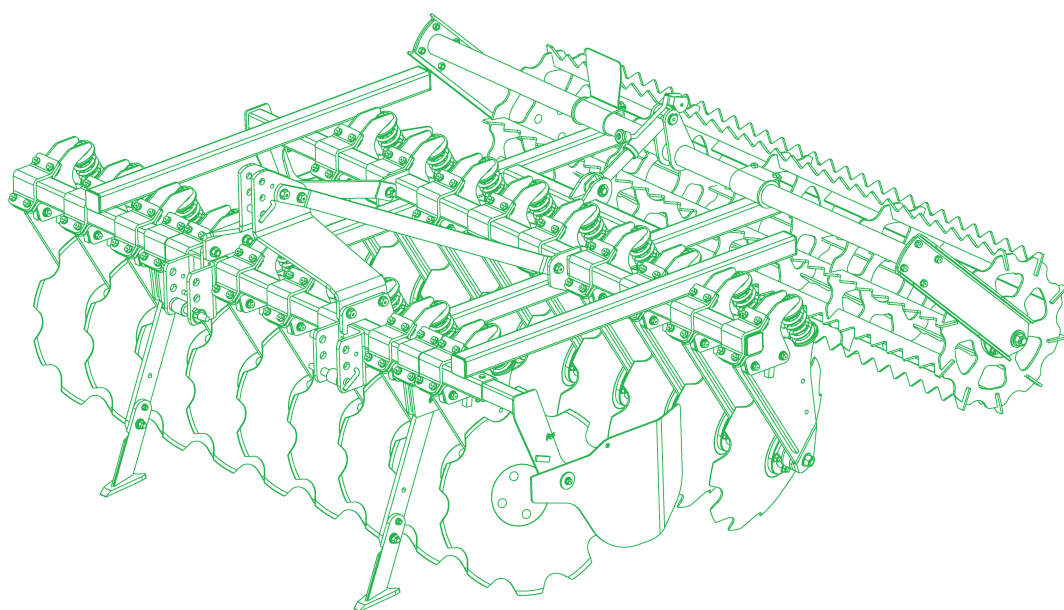


三菱ディスクハロー

取扱説明書

MDH1820



ご使用前に必ずお読みください
身近なところに大切に保管してください




このたびはディスクハローをお買いあげ いただきありがとうございます。

●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかと簡単なお手入れおよび守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用まえにこの取扱説明書をよくお読みいただき安全で快適な作業をしてください。

- ・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
- ・また、この機械を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を機械といっしょにお渡しく下さい。
- ・本書では、安全上重要な事項を(▲)で示し、つぎのように表示しています。必ず守ってください。

 危険	その警告に従わなかった場合は、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警告	その警告に従わなかった場合は、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注意	その警告に従わなかった場合は、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- ・なお、この機械の品質・性能向上あるいは安全のために、使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラストなどの一部が、機械と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・製品の使いかたを動画で説明していますので、スマートフォンなどのお気に入りなどに保存してご利用ください。



<https://www.mam.co.jp/product/after-support/mdh1820/>

●機械の使用目的について

- ・この製品は、ほ場において適応トラクタに装着して、土壌・土層改良の農作業にご使用ください。使用目的以外（抜根、石掘りなど）の作業や改造などは行わないでください。
- ・使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。（詳細は保証書をご覧ください）また、作業適応範囲以外で使用した場合も、保証の対象になりません。

こんなとき, こんなことが知りたいとき, ここを見てください!

この取扱説明書は, つぎの通り構成されています。まず基本事項から操作, 点検まで機械の正しい取扱い方を理解してください。また, あわせてトラクタの「取扱説明書」をお読みください。

安全作業のために 安全な作業をするための注意事項は?

この機械はトラクタに装着して作業を行う機械ですのでトラクタの安全な取扱いに関する基本事項, また機械に貼付けてある安全に関する表示ラベル (危険ラベル・警告ラベル・注意ラベル) について説明しています。ご使用まえによく読んで理解し必ず守ってください。

ご使用まえに 使用前に知っておかなければならないことは?

機械の概要「仕様 (装備)」などについて説明しています。

各部の名称 各部の名称を知るには?

機械の主な名称について説明しています。

取扱い方 ほ場作業を行うには?

作業方法と作業に必要な装置の使いかたについて説明しています。

手入れのしかた 機械を長もちさせるには?

機械をつねに正常な状態に保つために, 手入れのしかたについて説明しています。必ず実施してください。

付 表 主要諸元・関連部品は?

も く じ

安全作業のために ……(安全作業説明編)

ご使用まえに …………… 1

1. 保証とサービスについて…………… 1
2. 用語について…………… 2
3. 運転免許について…………… 2

各部の名称 …………… 3

取扱いかた …………… 4

1. 重量バランスの確認…………… 4
2. トラクタへの装着…………… 4
3. 取外しかた…………… 6
4. 機能について…………… 6
 1. ディスク…………… 6
 2. トゥースローラー…………… 7
 3. サイドカバー…………… 7
 4. チゼル…………… 8
5. 作業のしかた…………… 9
 1. トップリンクの調整…………… 9
 2. 作業のしかた…………… 9
 3. 耕うん方法…………… 10
 4. 耕うん回数…………… 11
6. 公道走行について…………… 11
 1. 公道を走行するとき…………… 11
 2. トラクタの安定性について…………… 11
 3. 公道走行用ラベルについて…………… 12
 4. 灯火装置および反射器について…………… 13

手入れのしかた …………… 14

1. 点検・調整および給脂について…………… 14
 1. 点検・調整箇所…………… 14
 2. 給脂箇所…………… 16

付 表 …………… 17

1. 主要諸元…………… 17
2. 主な消耗部品…………… 18

(安全作業説明編)

安全作業のために

	ページ
1. 安全作業のしかた.....	(安-1)
2. 表示ラベルについて.....	(安-5)

安全作業のために

1. 安全作業のしかた

- ・安全上の重要な事項を **⚠危険** **⚠警告** **⚠注意** の3段階に分類して説明していますので、よく読んで理解し安全作業に努めてください。
- ・なお、この項で説明している安全説明はトラクタ用作業機全般についてのものです。合わせてトラクタの取扱説明書もお読みください。これ以外にも本文の中で同様に説明していますので必ず守ってください。

必ず守ってください

守らないとこんな事故が!

⚠警告 ◆このような人は運転しないでください。

- 酒気をおびた人
- 妊娠している人
- 16才未満の人
- 指導者のいない運転未熟練者
- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により、正常な運転操作ができない人

◆運転する人は健康に気をつけて適当な睡眠と休けいをとってください。

思わぬ事故を起こすことがあります。



T00097

⚠警告 ◆作業に合ったキチンとしたものを着用してください。

このような服装は衣服が回転部に巻込まれたり、足をスべらせたりして思わぬ事故を起こすことがあります。



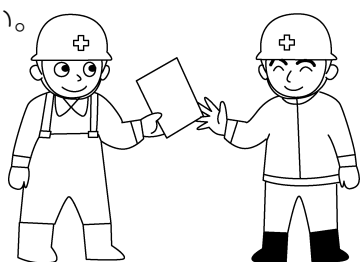
T00031

スベリ止めのある足に合った靴

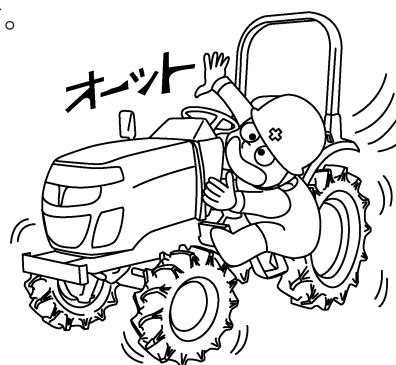
T00098

⚠警告 ◆機械を他人に貸す場合は取扱説明書も合わせて貸して、安全な作業ができるよう説明してください。

借りた人が不慣れなため、思わぬ事故を引起すことがあります。



T00032



T00049

必ず守ってください

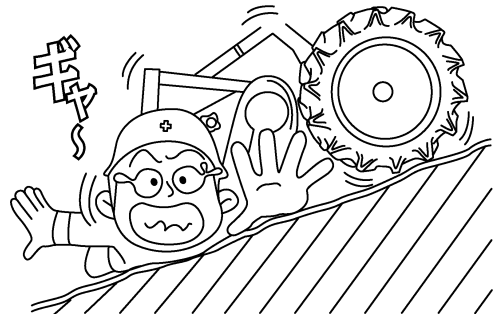
守らないとこんな事故が！



◆作業機を着脱する前に、平坦な場所で駐車ブレーキをかけエンジンを停止してください。着脱作業は各部の動きが止まってから行ってください。

- 着脱は平坦な場所で、地盤のしっかりしたところで行う。
- 夜間は適切な照明をする。

トラクタが動き出したりして、思わぬ傷害事故を起こす原因となります。



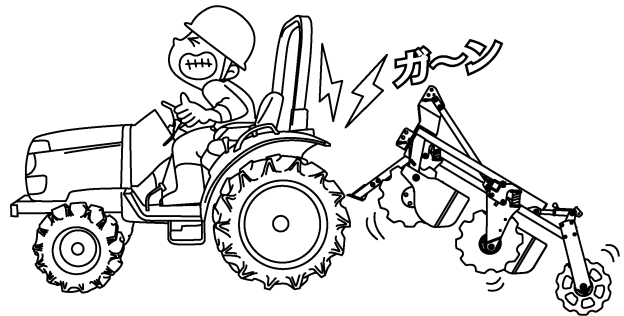
T10079



◆トラクタに適合した作業機を装着してください。

- 吊り穴は作業機に応じて指定された穴位置で使用する。
- 左右のチェックチェーンを調整し、作業機が振れてもタイヤに触れないようにする。

思わぬ事故を起こすことがあります。



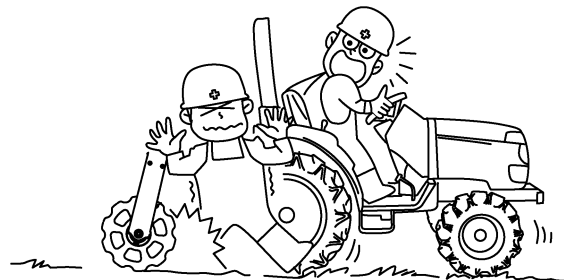
T10001



◆作業機を着脱で2人作業のときは合図を確実にし合ってください。

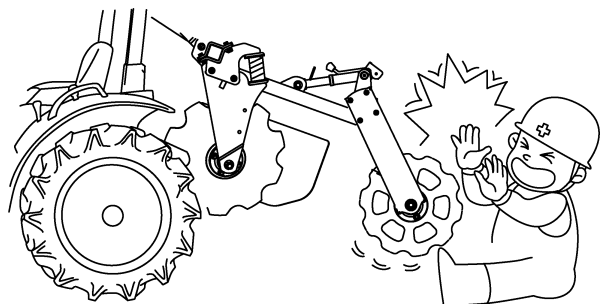
- ◆作業機を着脱するときは周囲を確認し、トラクタや作業機の周囲から子供など、人を遠ざけてください。
- トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタと作業機の間に入らない。
- 装着は手順通り正しく行う。
- 確実に装着して、ピンに抜け止めピンをする。
- 作業員以外の人を近づけない。
- ◆トップリンクの調整は作業機を下げてから行ってください。

機械にはさまれたりして、傷害事故を起こすことがあります。



T10002

作業機を上げたままで調整を行うと、トップリンクが抜けて作業機が落下することがあり、傷害事故を起こすことがあります。



T10003

必ず守ってください

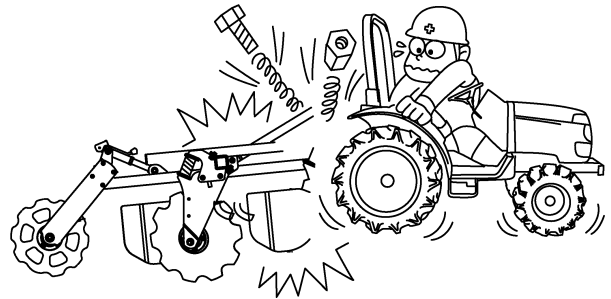
守らないとこんな事故が！



◆各部のボルト、ナット、ディスクなどがゆるんでないか確認してください。

- ボルト、ナット類、ディスクなどの取付ボルトがゆるんだ状態であれば、直ちに締める。

作業機が壊れ思わぬ事故の原因となります。

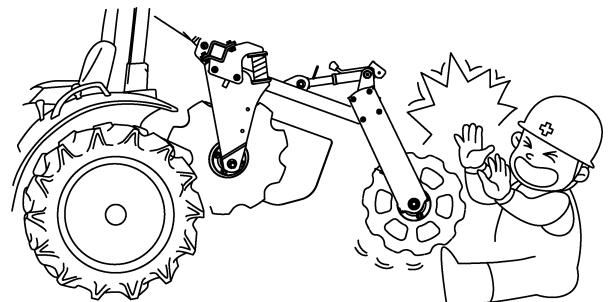


T10004



◆作業機の下へもぐったり、足を踏んだりしないでください。

何かの原因で作業機が急に下がったりして傷害事故を起こすことがあります。

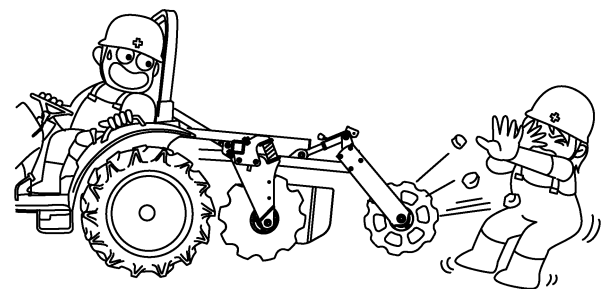


T10003



◆点検、調整時、整備時などに外したカバー類は、すべて元の位置に正しく装着してください。

機械に巻込まれたり、泥や石などがはねたりして傷害事故を起こすことがあります。

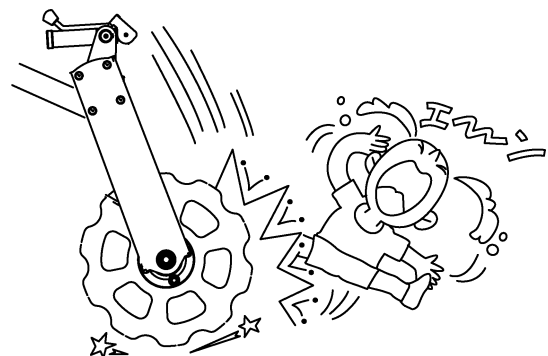


T10005



◆作業機を上げて点検するときや、草・ワラの巻付を除去するときには、作業機降下速度調節装置を「固定」の位置にしてください。さらに不意に作業機が下がらないよう作業機の下に固定脚を置いてください。

何かの原因で作業機が急に下がったりして傷害事故を起こすことがあります。



T10006

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！

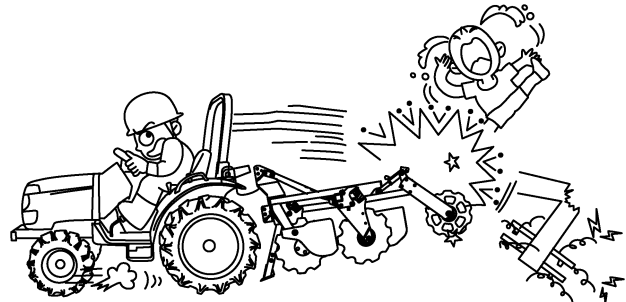


警告

◆作業機を取付けた状態で走行するときは「道路運送車両の保安基準」を満たした状態で走行してください。

基準を満たしていない場合は、法令に適合した灯火装置および反射器、表示板を取付けてください。

思わぬ事故を引起こすことがあります。



T10007


2. 表示ラベルについて

(1) 警告ラベルについて


この機械には安全な取扱い方について説明している「表示ラベル（警告ラベル）」が貼付けてあります。ラベルの説明をよくお読みいただき守ってください。

また、機械に貼ってあるラベルが破損したりして読めなくなった場合やラベルの貼ってある部品を交換する場合は新しいラベルを「お買いあげ先」に注文して購入し貼替えてください。

②



警告




傷害事故防止のため、取扱説明書を読み理解して正しい取扱いをしてください。

ケガや死亡事故を起こさないために


- 作業機の取付け・取外しをする時は—
- 平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止してから行なってください。
- トラクタと作業機の間に入らないでください。
- 3点リンクのセットピンが確実にセットしてあることを確認してください。
- トラクタの前部に適切なバランスウェイトを装着してください。
- 正しい操作方法で
- 作業機の上に人や物をのせないでください。
- エンジン回転中は回転物に手・足・衣服を近づけないでください。
- 草の巻付きや詰まり等を取除く時は、エンジンを停止し、作業機の回転が止まってから行なってください。
- 作業機の上げ・下げや後進・旋回をする時は、周囲を確認してから行なってください。
- 清掃・点検・整備
- 平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、作業機の回転が止まってから行なってください。
- 作業機を上げて、清掃・点検・整備をする時は油圧をロックし、さらに作業機の下に固定脚を置いてください。

12450456000

No.	品番	名称
①	0960 3200 037	警告ラベル
②	1245 0456 000	警告ラベル
③	1245 0457 000	警告ラベル

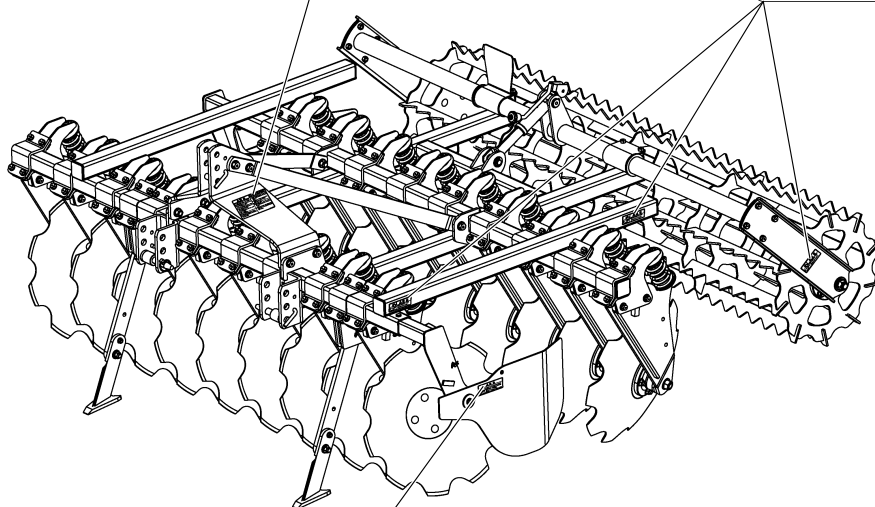



09603200037




警告

- 回転中は回転物に手・足及び身体を触れないでください。



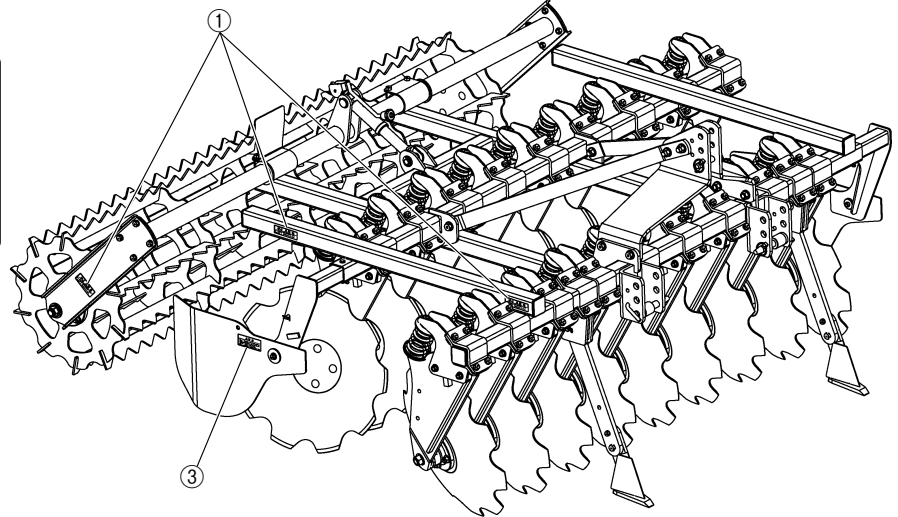


警告



12450457000

- はさまれてケガをするおそれがあります。
- 開閉時はカバーの支点まわりで指や手を挟まないようにしてください。
- 開閉はゆっくり行なってください。



安全作業のために

(2) 公道走行用ラベルについて

この機械には作業機付公道走行をするために必要な各種ラベルが貼付けてあります。

貼付けてあるラベルが破損したりした場合やラベルの貼ってある部品を交換する場合は新しいラベルを「お買いあげ先」に注文して購入し貼替えてください。

No.	品番	名称
④	1206 7220 000	制限標識ラベル
⑤	1206 7231 000	赤色反射材
⑥	1206 7232 000	白色反射材
⑦	1206 7252 000	「運行速度」ラベル
⑧	1206 7253 000	「15km/h以下」ラベル
⑨	1206 7210 002	ラベルセット

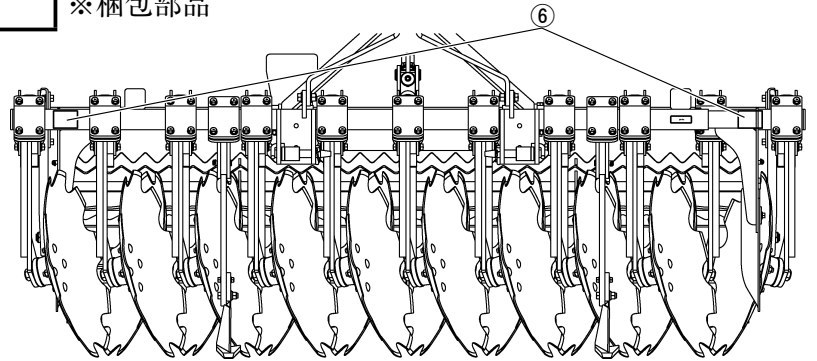
※梱包部品
※梱包部品
※梱包部品

⑦
運行速度

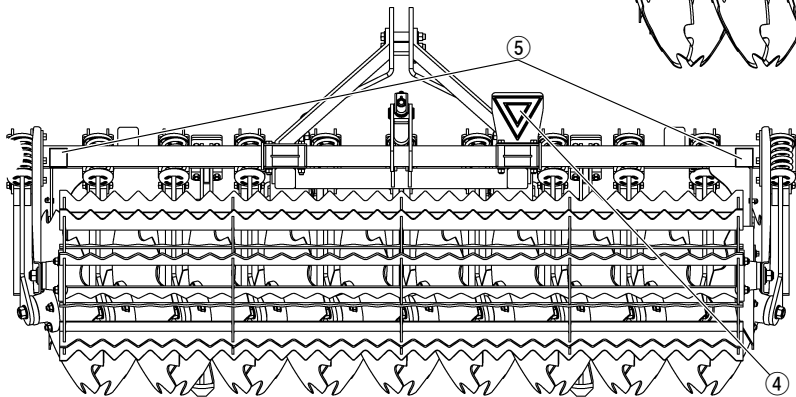
12067252000

⑧
15km/h以下

12067253000



12450003



12450004

⑨

本ラベルを運転席の見やすい位置に貼り付けて下さい。

全幅明示ラベルには「全幅 2.50m」のように小数点第二位まで書き込んで下さい。

- 作業機名「-----」！全幅「-----」m
- 作業機名「-----」！全幅「-----」m
- 作業機名「-----」！運行速度15km/h以下
- 作業機名「-----」！運行速度15km/h以下
- 作業機名「-----」！けん引時運行速度15km/h以下
- 作業機名「-----」！けん引時運行速度15km/h以下

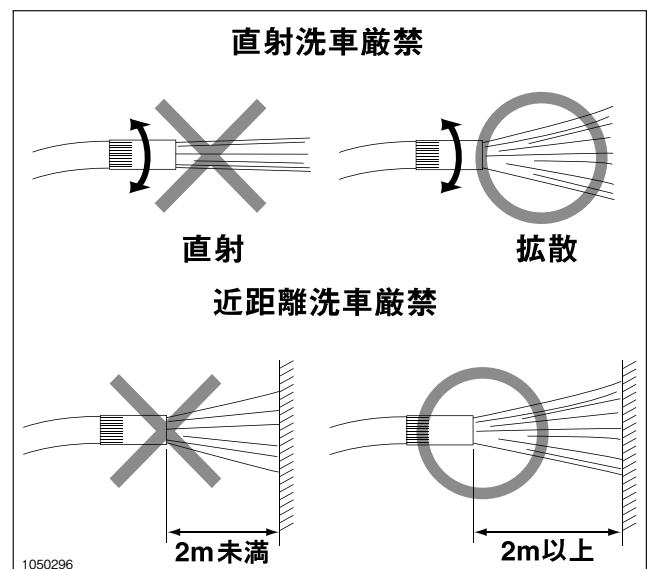
運行速度15km/h以下
主変速機「□」副変速機「□」
以下で走行してください。

運行速度15km/h以下
主変速機「□」副変速機「□」
以下で走行してください。

120672100021

(3) 洗車時の注意

高圧洗車機を使用する場合は洗浄ノズルを拡散し、2m以上離して洗車してください。もし、直射にしたり、不適切に近い距離から洗車すると、ラベルが剥がれる原因になります。



ご使用まえに

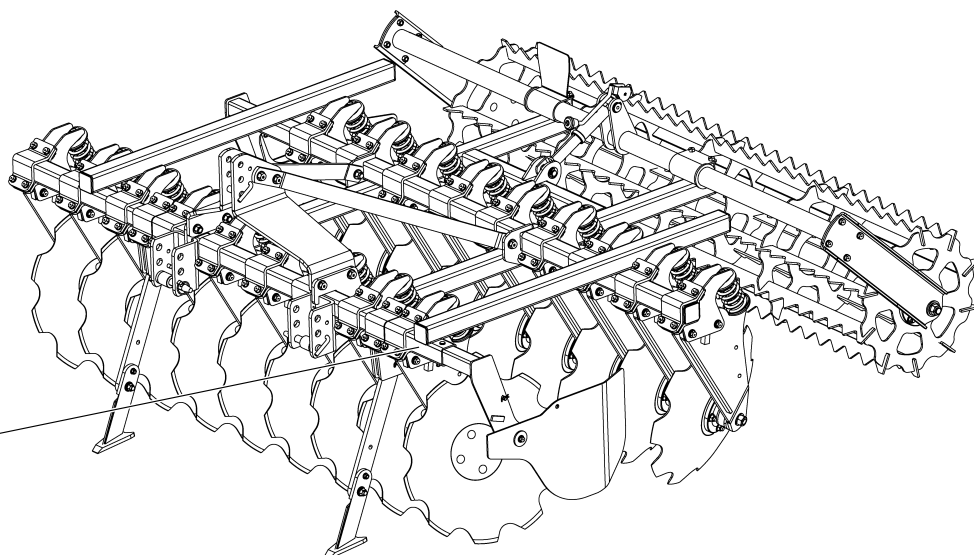
1. 保証とサービスについて

- ・この機械には保証書が添付されていますので、ご使用まえによくお読みください。
- ・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは「お買いあげ先」にご相談ください。その際「型式」・「機械番号（製造番号）」をお知らせください。

[機械番号（製造番号）]

型式名	MDH1820
製造番号	10011

*上図の番号は一例です。この番号がお手持ちの機械の機械番号（製造番号）ではありません。



12450001

・補修用部品の供給年限について

・この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年といたします。

※供給年限内であっても特別な事情により供給できない部品も一部ございます。詳しくは三菱農業機械取扱店までお問い合わせください。

・補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

・機械の使用目的について

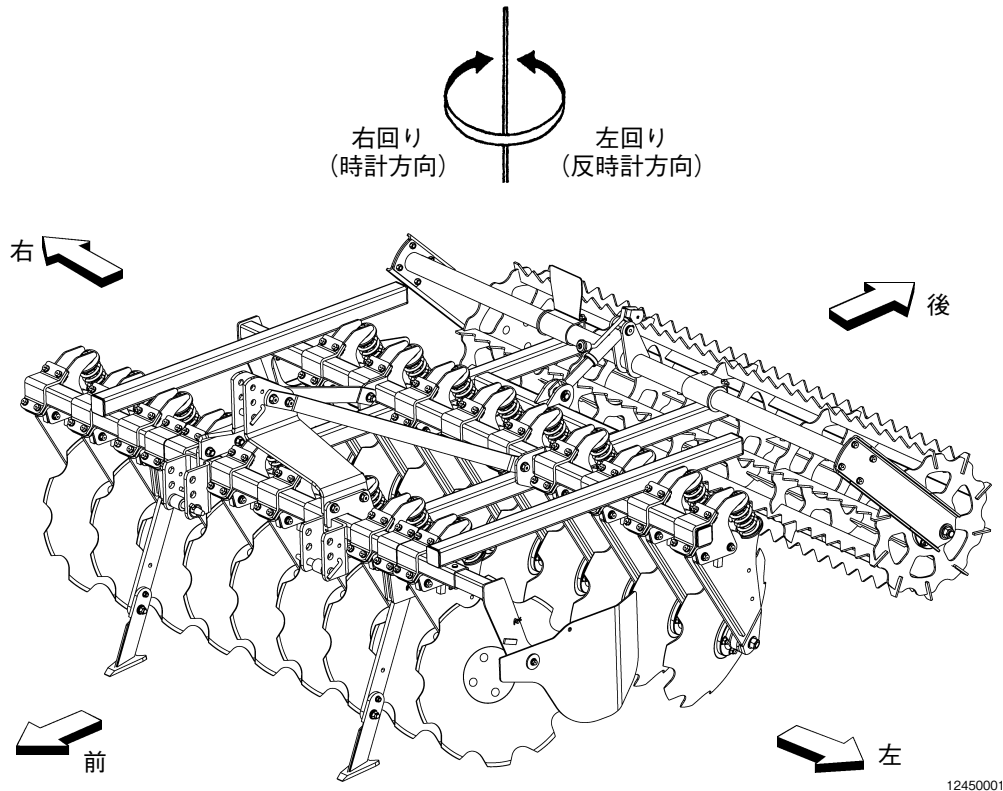
- ・この製品は、ほ場において適応トラクタに装着して、土壌・土層改良の農作業にご使用ください。使用目的以外（抜根・石掘りなど）の作業や改造などは行わないでください。
- ・使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象となりません。（詳細は保証書をご覧ください）また、作業適応範囲以外で使用した場合も、保証の対象となりません。

警告 傷害事故防止のために

- ◆機械を改造しないでください。機械を改造すると本来の機能を発揮できないばかりか、人身事故の原因となることがあります。
- ◆使用目的以外の作業に使用しないでください。

2. 用語について

(1) この取扱説明書に使用している「前後・左右・右回り・左回り」などの用語は図示のように決めています。



(2) マークの説明

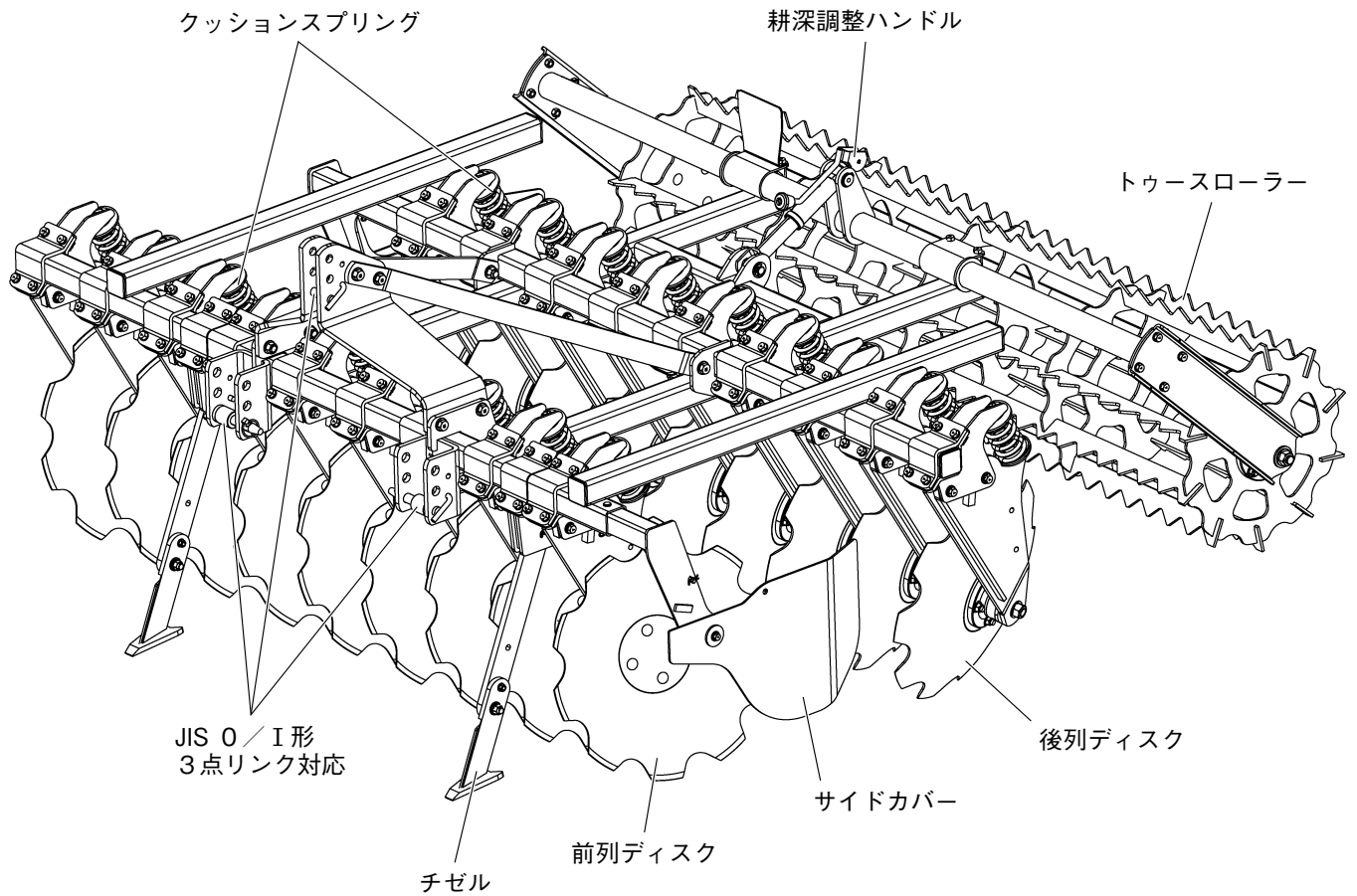
この取扱説明書ではその都度守っていただきたい事柄をつぎのマークを使用して説明しています。

- ・ **⚠危険** **⚠警告** **⚠注意** ……安全上重要な事項を3段階に分けて説明していますので必ず読んでください。
- ・ **取扱いのポイント** ……機械の機能・性能上に関する説明です。守らないと故障の原因になることもあります。

3. 運転免許について

この作業機を装着したトラクタで道路を運転するためには、大型特殊免許（農耕車に限る。も含む）を取得している必要があります。

各部の名称



取扱いかた

1. 重量バランスの確認

作業機がトラクタに装着されたとき、トラクタの前後輪にかかる重量バランスが変わり、走行困難（前車輪の浮上がり・横滑りなど）につながる可能性があります。

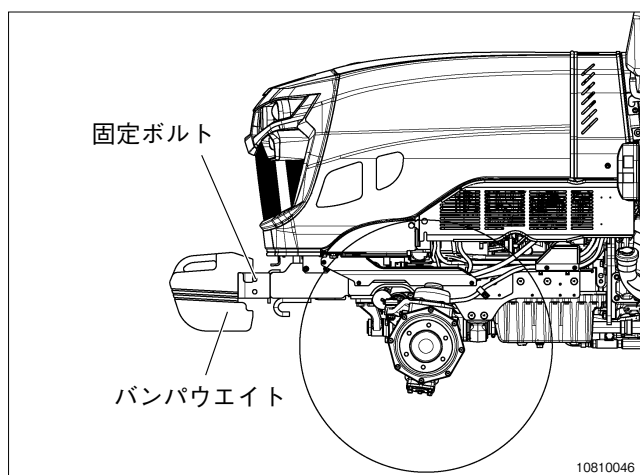
安全な運転のためには、トラクタの重量の20%以上が前車軸にかかる必要があります。バンパウエイトなどをトラクタに追加装着し、20%以上になるようにして道路走行やほ場作業を行ってください。

作業機付トラクタの前輪分担荷重計算式…
(11ページ参照)

⚠警告 傷害事故防止のために

◆重い作業機を連結または装着した場合は、トラクタのバンパにバンパウエイトを付けて、バランスを保ってください。

- ・バンパウエイトは純正品を使用してください。
- ・バンパウエイトを取付けるときは固定ボルトで固定してください。



2. トラクタへの装着

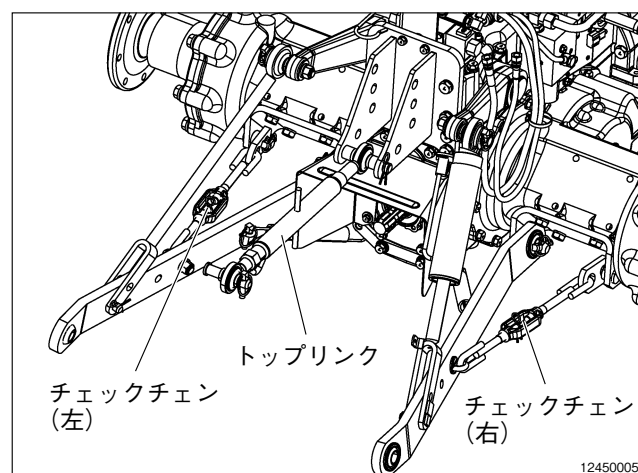
⚠警告 傷害事故防止のために

- ◆作業機の着脱は平坦な場所でトラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して行ってください。
- ◆トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に入らないようにしてください。
- ◆作業機を装着すると、長さが長くなりますので、旋回時は周囲を確認して行ってください。

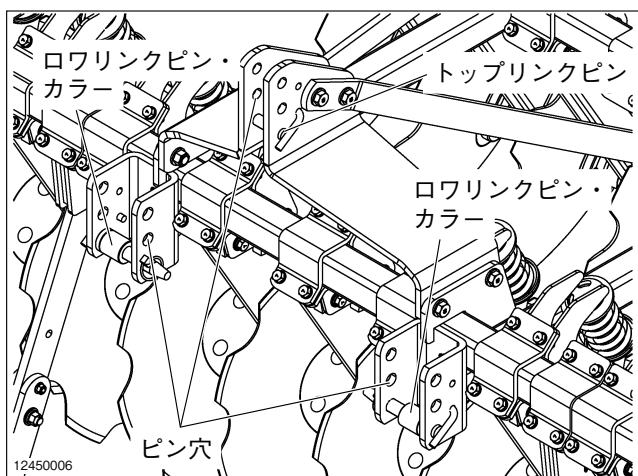
この作業機は、3点ヒッチ方式のトラクタに装着できます。

トラクタへの装着は危険が伴います。作業は以下の手順を守ってください。

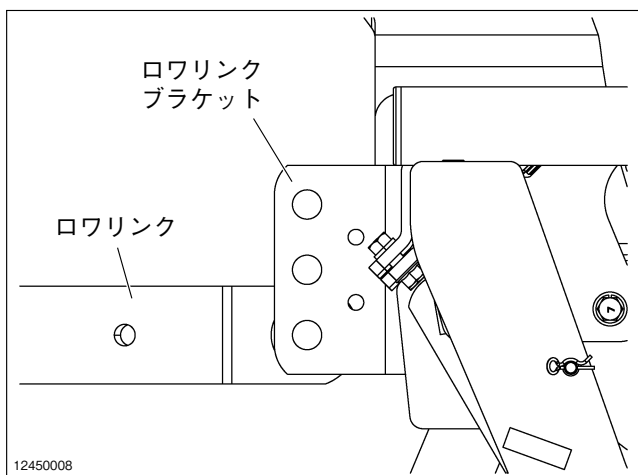
1. 装着は平坦な場所で地盤のしっかりしたところで行ってください。
2. トップリンク、ロワリンクのセットは最上げ時の持上げ高さ、最下げ時の最大耕深が最適な位置になるようセットしてください。
3. トップリンク、チェックチェンのターンバックルがスムーズに回せて長さ調整ができることを確認します。(必要に応じてねじ部にグリスまたはオイルを塗布してください)



4. トップリンクピン, ロワリンクピン, カラーの摺動部にグリスまたはオイルを塗布して準備しておきます。

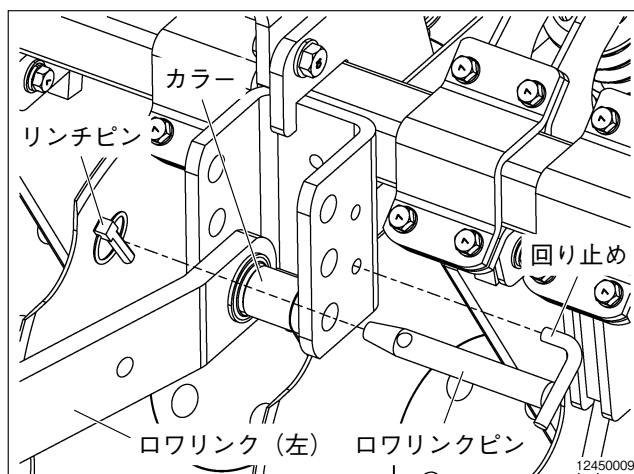


5. トラクタをゆっくりと後進させて, ロワリンクを作業機のロワリンクブラケットに合わせます。
6. ロワリンクを上げ下げしてロワリンク (左)の穴とロワリンクブラケットの装着しようとする穴とを合わせます。



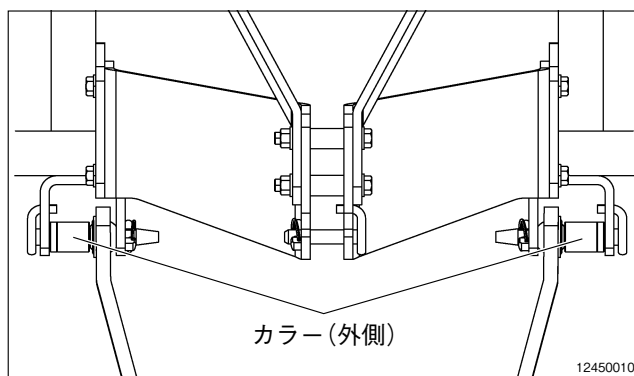
7. ロワリンク (左) とロワリンクブラケットの間にカラーを入れ, ロワリンクピンを機械外側から差込みます。このときロワリンクピンの回り止めをロワリンクブラケットの穴に差込んでください。

8. リンチピンでロワリンクピンを固定します。

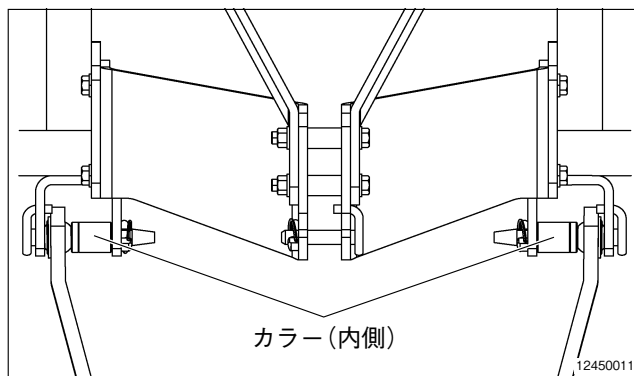


9. ロワリンクピンに付属しているカラーはトラクタ3点リンクのJIS 0形の場合はロワリンクの外側, JIS I形の場合はロワリンクの内側になるよう取付けてください。

[JIS 0形]



[JIS I形]



取扱い
かた

10. ロワリンク（右）を取付けます。
ロワリンク（右）の高さが合わないときは、トラクタにある傾き自動を調整して取付穴位置を合わせてください。
11. トップリンクを取付けてください。
12. ゆっくりポジションコントロールレバーを上げ方向に操作し作業機を少し吊り上げてください。
13. 左右のチェックチェンを回し、作業機の中心がトラクタの中心にあることを確認してください。
14. つぎにチェックチェン（左）を張り、機械右側への横方向の遊びを無くします。
15. つぎにチェックチェン（右）を張った状態から1回転ゆるみ方向に回して遊びを出します。

3. 取外しかた

作業機をトラクタから外す場合は危険が伴います。指示に従い十分注意してください。

トラクタから作業機を外すときは周りに物を置かないでください。

以下の手順に従って、しっかりとした水平な場所を実施してください。

1. ゆっくりポジションコントロールレバーを下げ方向に操作し地面に降ろします。
2. トップリンクの長さを調整して作業機を自立させ、左右のロワリンクとトップリンクを外します。

4. 機能について

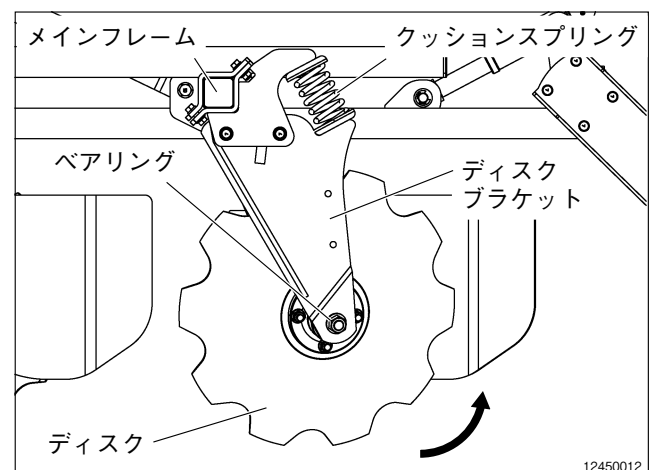
1. ディスク

警告 傷害事故防止のために

◆ディスクは鋭利な刃物ですので手袋などをして取扱ってください。

各ディスクはほ場内の石などに衝突した際に衝撃を吸収するクッションスプリングを備えており、ディスクの損傷を防止します。

ディスクのディスクブラケットへの取付けは特殊ベアリングを採用しています。そのためグリスアップは不要です。

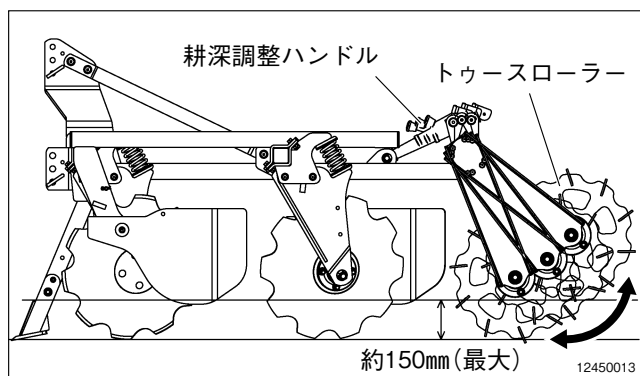


2. トゥースローラー

① トゥースローラー

トゥースローラーはメインフレームへ連結パイプと耕深調整ハンドルを介して備えられています。

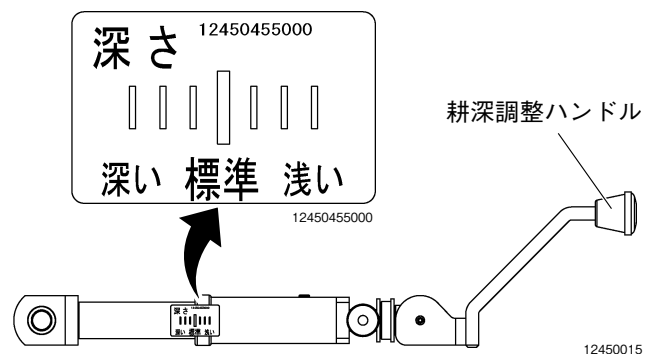
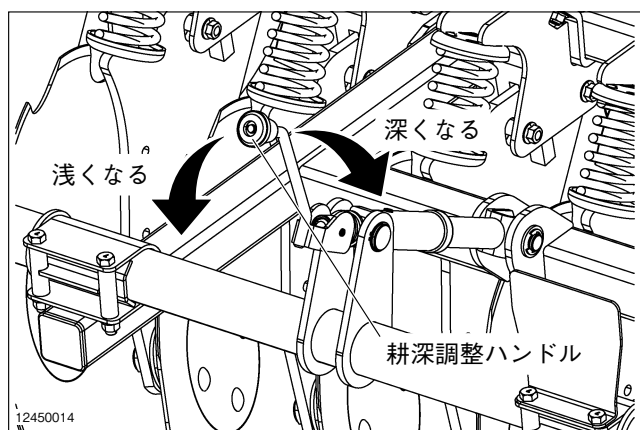
耕深調整ハンドルでトゥースローラーの高さを上げ下げすることにより、ディスクの作業深さや土壌の碎土均平状態を調整することができます。



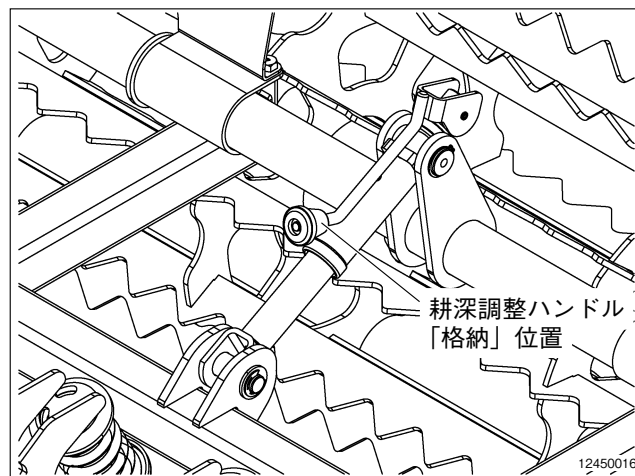
② 耕深調整ハンドル

耕深調整ハンドルを回すことによりトゥースローラーの高さを調整することができます。目盛りラベルの「標準」位置で耕深約130mmです。

- ・ 右に回せば…耕うん深さが深くなります
- ・ 左に回せば…耕うん深さが浅くなります



耕深調整ハンドルを使用しないときは「格納」位置に折り畳んでください。

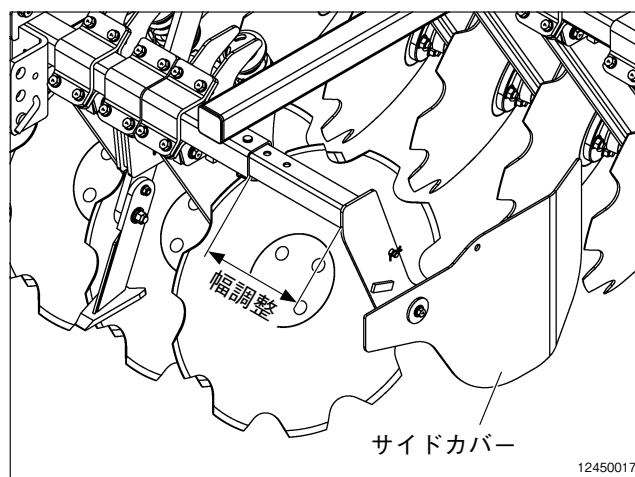


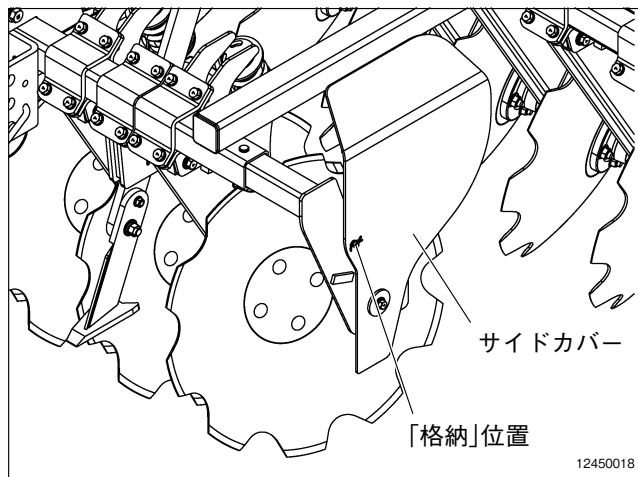
3. サイドカバー

警告 傷害事故防止のために

◆サイドカバーの開閉をするときは、サイドカバーの先端を持ち、ゆっくり行ってください。それ以外の回動部には手を近づけないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

サイドカバーは前列ディスク左側方および後列ディスク右側方に装備されています。ディスクによって耕起された土塊が作業範囲の外側へ飛散することを防止します。必要に応じディスクとの間隔を調整することができます。また、使用しないときには格納状態にすることができます。





取扱いのポイント

- 土塊・残渣が詰まる場合
 - ・ サイドカバーを外に引出す
 - ・ サイドカバーを格納する

4. チゼル

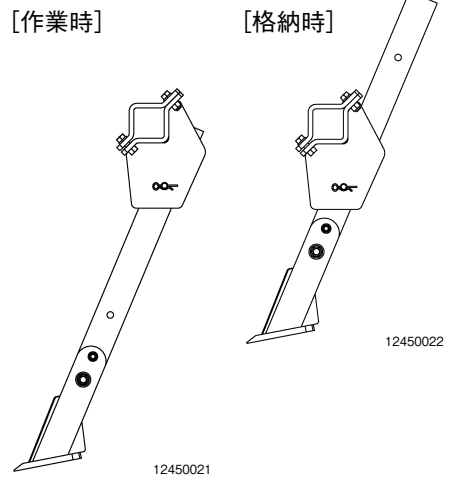
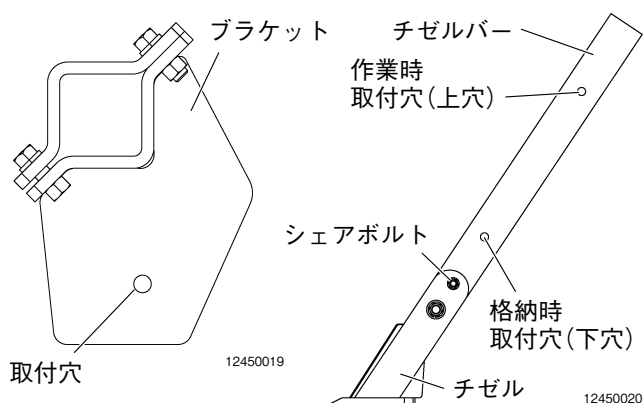
チゼルはメインフレーム前列左右に2本装備されています。所望する耕深よりも浅いとき、トラクタの直進性が安定しないときなどに使用すると効果的です。

畦崩し、水分の多いほ場、残渣の多いほ場、緑肥のすき込みなどの作業では格納することをおすすめします。ほ場条件に合わせてご使用ください。

① チゼルの取付けかた

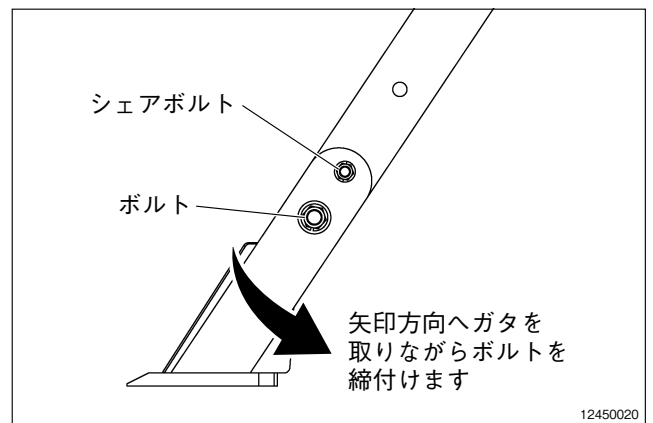
チゼルバーをチゼルブラケットに差し込み、チゼルバーの穴をチゼルブラケットの取付穴と合わせてピンを差し込みます。

作業で使用するときにはチゼルバーの上穴、作業で使用せず格納するときにはチゼルバーの下穴でブラケットに取付けてください。



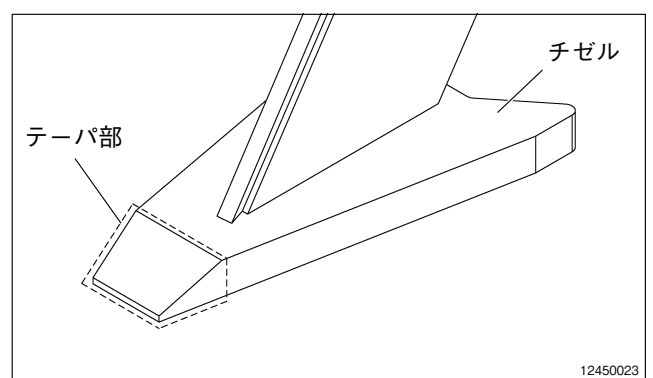
② チゼルの安全装置

チゼルには安全装置としてシェアボルトを備えています。土中にある強固な障害物にチゼルが引っかかった場合にはシェアボルトが切断することでディスクハローやトラクタ本体が破損することを防ぎます。シェアボルトが切断した場合には新しいものに交換してください。(18ページ参照)



③ チゼルの交換

チゼルの先端部が削れて短くなると本来の性能が発揮できなくなったり部品の破損に繋がる可能性があります。先端のテーパ部の有無を目安に早めの交換をおすすめします。

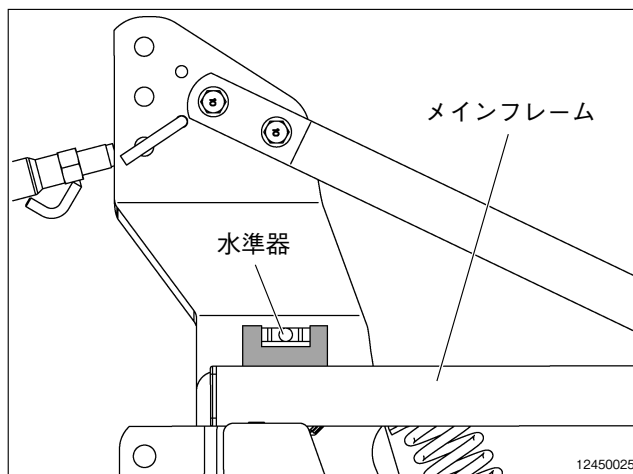
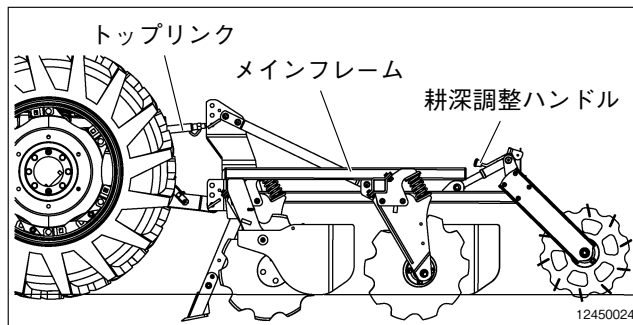


警告 傷害事故防止のために

- ◆チゼルを取扱うときは平坦な場所におき、駐車ブレーキをかけて、エンジンを停止してください。
- ◆油圧の降下速度調整グリップを《固定》の位置にしてください。さらに不意に作業機が下がらないよう作業機の下に固定脚を入れてください。
- ◆チゼルを使用しないときは必ず格納位置で取付けるか、別の場所へ保管してください。チゼルのブラケットに逆向きに取付けると作業機を持上げたときにトラクタ本体に接触して傷害事故になることがあります。

ディスクハローのメインフレームが水平になるようトップリンクの長さを調整します。水平を測るときに水準器などがあると便利です。

- ・トップリンクを伸ばす…作業機が後傾になる
- ・トップリンクを縮める…作業機が前傾になる



5. 作業のしかた

1. トップリンクの調整

耕うん作業をするときは、ディスクハローが水平となるようトップリンクで調整してください。

機械が前傾になると前列ディスクに働く力が強くなりトラクタが右に引っ張られます。機械が後傾になると後列ディスクに働く力が強くなりトラクタが左に引っ張られます。

① 耕深調整ハンドルの設定

耕深調整ハンドルを回して所望する耕うん深さになるようにトゥースローラーの高さを決めてください。(7ページ参照)

② チゼルの設定

チゼルを使用する場合はチゼルバーの上穴にセットしてください。(8ページ参照)

③ トップリンクの調整

トラクタのポジションコントロールレバーを最下げにしディスクハローを接地させ、数メートル前進し、ディスクとチゼルが土中に刺さり込んだら一旦停止します。

2. 作業のしかた

作業前に各部のボルト・ナットがゆるんでいないかを確認します。(14, 15ページ参照)

部品に損傷がないかを確認し、必要に応じて交換してください。ディスクなどに絡みついた草、ワラ、残渣物などがあれば取除いてください。

① 傾き自動の設定

トラクタに傾き自動機能がある場合は作業機の姿勢を水平に保てるよう自動機能を使用することをおすすめします。

② 作業機降下速度の調整

作業機降下速度調整機能がある場合は作業機が急降下しないよう降下速度の調整をしてください。

取扱いかた

③ 車速の設定

耕うん作業は十分な碎土性・反転性を得るために車速8～10km/hをおすすめします。過度な速度での作業は機械の損傷の原因となりますのでお控えください。

④ 作業時の速度調整

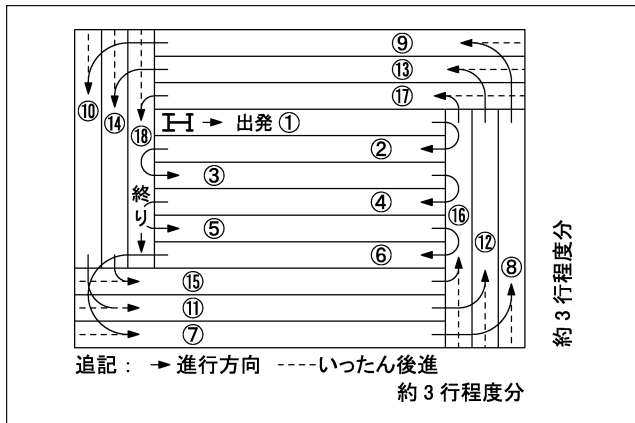
耕うん時はアクセルペダルの操作によって速度調整を行ってください。エンジンコントロールレバーの操作によって作業すると、枕地での旋回時などで急発進をして危険です。

3. 耕うん方法

1) 隣接往復耕

枕地の旋回部分が狭いほ場などに用いる方法で、ロータリなどの耕法と同じです。

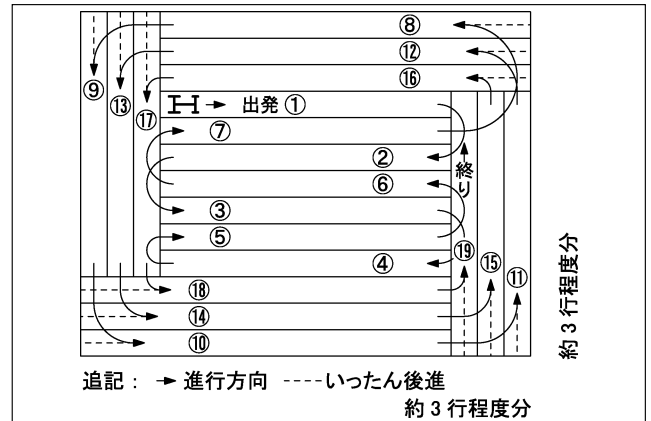
- ① ほ場の周囲を「3行程弱幅」残して（枕地）
下図のように直進耕うん後3回のまわり耕で枕地を処理します。
- ② 耕うん順序は隣り合わせに進み、前後輪タイヤが一度耕うんした所に落ちないようにします。



2) 一本おき往復耕

ほ場条件が良い場合はこの方法が能率的で作業が簡単です。

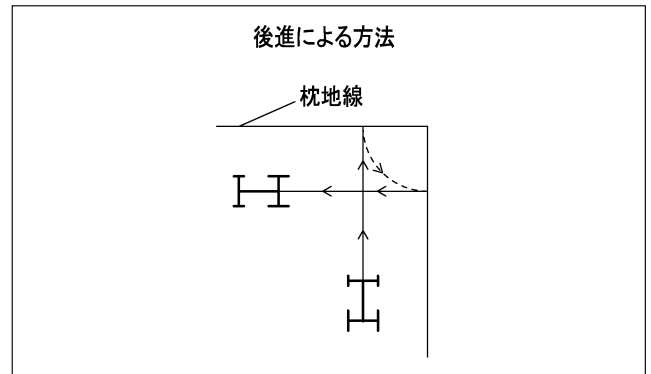
- ① ほ場の周囲を「3行程弱幅」残して（枕地）
下図のように最初一行程おきに直進耕し，残りを耕うんした後に3回のまわり耕で枕地を処理します。



3) 旋回（方向転換）方法

① バックによる方法

枕地線まで直進耕を行い，作業機を引上げ，右後方へあぜまで直進しながら，隣接既耕地にタイヤを沿わせるように直進します。



取扱いのポイント

- 上図長方形部分1枚が直進1回で耕うんされる面積を示し，この手順が1度耕うんした所を後輪タイヤで押さええないための最善の方法です。枕地処理の出発点はトラクタが最後に出る所によって決まります。直進が終わってつぎの直進に移るまで（旋回時）は作業機を上げてください。また作業機を引上げた位置と降ろした位置をそろえると枕地作業が楽にできます。

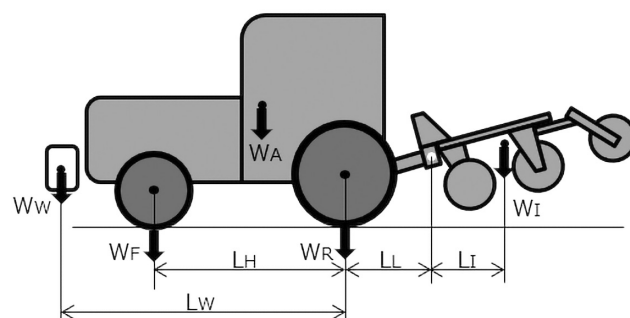
取扱いのポイント

- 作業状態での旋回は禁止です。旋回時に完全に持上げていないと機械が破損する可能性があります。
- 枕地での旋回時はディスクとチゼルが完全に土中から抜けてから旋回をしてください。完全に抜けないまま旋回すると，作業機が破損する原因になります。

4. 耕うん回数

稲刈り後の水田荒起しなどでの一回耕うんで稲株の反転性や土塊の碎土性が所望する状態にならない場合、二回以上の耕うんを行うことで所望する仕上がりにすることができます。

畑の畦崩しなどでも同様ですので必要に応じて耕うん回数を決めてください。



6. 公道走行について

1. 公道を走行するとき

公道を走行するときは、道路交通法など関係法規を守りつぎの注意事項に従って、「安全速度」で走行してください。

2. トラクタの安定性について

① 操舵輪の分担荷重について

作業機を装着した状態で、前輪にかかる荷重が車両総重量の20%未満では道路走行できません。また作業機を装着した状態ではトラクタの前後輪にかかる重量バランスが変わり、走行困難（前車輪の浮上がり・横滑りなど）につながる可能性があります。

バンパウエイトなどをトラクタに追加装着し、20%以上になるようにして道路走行やほ場作業を行ってください。

作業機付トラクタの前輪分担荷重はつぎの式で求めることができます。

20% ≤ 前輪分担率

$$= \frac{WF + \frac{LW \times WW}{LH} - \frac{(LL + LI) \times WI}{LH}}{WA} \times 100$$

		記号	単位
トラクター	前輪分担荷重	WF	kg
	後輪分担荷重	WR	kg
	トラクター重量	WT	kg
	ホイールベース	LH	m
	ロワリンクピン中心位置	LL	m
作業機	作業機重量	WI	kg
	作業機重心位置	LI	m
フロントウエイト	ウエイト搭載重量	WW	kg
	ウエイト重心位置	LW	m
	作業機付トラクター総重量	WA	kg

また作業機装着時にタイヤの許容荷重を超えないことを確認してください。

詳しくは「お買いあげ先」にお問い合わせください。

② 最大安定傾斜角度について

作業機を装着した状態で、最大安定傾斜角度が30度以上または35度以上（車両総重量が車両重量の1.2倍を超え、かつ積載により重心高さが上がるもの）あることが確認されたトラクタと作業機の組み合わせが、日農工ホームページにリストアップされます。

リストアップされた組み合わせについては運行速度制限を受けることなく通常で道路走行できます。

リストアップされていない組み合わせの場合、以下の制限事項に対応する必要がありますので、作業機に付属している公道走行用ラベルを使って正しく表示をしてください。

- ・運行速度15km/h以下で道路走行すること
- ・道路を走行する際、制限を受けた自動車の標識

取扱いかた

(▽) を作業機後面に、運行速度15km/h以下で走行することを作業機後面および運転席に表示すること（ただし、最高速度が15km/h以下のトラクタは除く）

3. 公道走行用ラベルについて

① 付属部品について

この機械には以下の公道走行用ラベルを付属しています。

No.	部品名	部品番号	個数
①	ラベル	1206 7252 000	1
②	ラベル	1206 7253 000	1
③	ラベルセット	1206 7210 002	1

① 運行速度

12067252000

② 15km/h以下

12067253000

③

本ラベルを運転席の見やすい位置に貼り付けて下さい。

全幅明示ラベルには「全幅2.50m」のように小数点第二位まで書き込んで下さい。

① 作業機名「! 全幅m

② 作業機名「! 全幅m

③ 作業機名「! 運行速度15km/h以下

④ 作業機名「! 運行速度15km/h以下

⑤ 作業機名「! けん引時運行速度15km/h以下

⑥ 作業機名「! けん引時運行速度15km/h以下

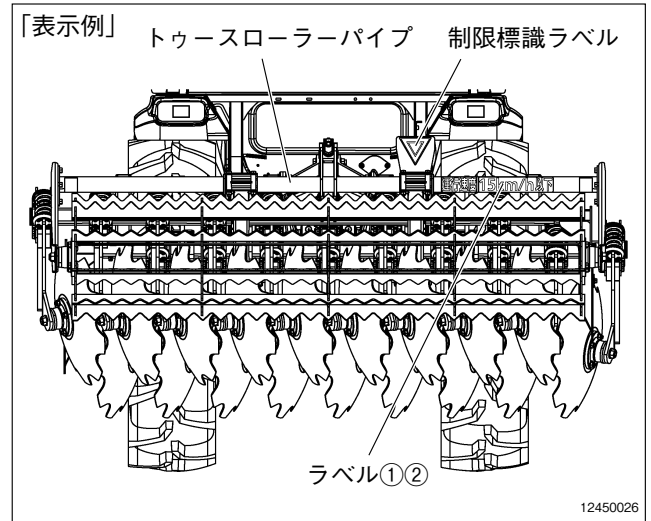
① 運行速度15km/h以下
主変速 副変速
以下で走行して下さい。

② 運行速度15km/h以下
主変速 副変速
以下で走行して下さい。

120672100021

② 作業機後面への表示のしかた

制限標識ラベルとラベル①～②を作業機後面の見やすい位置に貼付けてください。



取扱いのポイント

- 気温の低い時期はラベルの粘着力が低下する場合があります。ラベルを貼付ける際は貼付ける部位をよく脱脂し、あらかじめ温めてから貼付けてください。
- 高圧洗浄機を使用する場合は洗浄ノズルを拡散し、2m以上離して洗車してください。もし、直射にしたり、不適切に近い距離から洗車すると、ラベルが剥がれる原因になります。

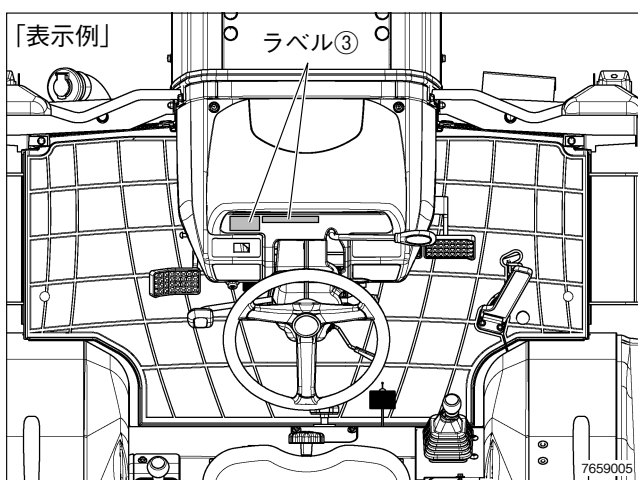
③ 運転席への表示のしかた

運転席から見える位置にラベル③を貼付けてください。(※)

スピードメータなどの速度表示が無い機械は、変速段数表示ラベルを貼付けてください。(※)

ご使用の機械の変速段数についてはトラクタの取扱説明書を参照ください。ご不明な点は「お買いあげ先」にお問い合わせください。

※フロントガラス、側面ガラスなどの窓ガラスには法令上貼付けられません。



④ 運転席用緩和事項表示ラベル (ラベルセット)

本ラベルを運転席の見やすい位置に貼り付けて下さい。

全幅明示ラベルには「全幅2.50m」のように小数点第二位まで書き込んで下さい。

① 作業機名「! 全幅m

② 作業機名! 全幅m

③ 作業機名! 運行速度15 km/h以下

④ 作業機名! 運行速度15 km/h以下

⑤ 作業機名! けん引時運行速度15 km/h以下

⑥ 作業機名! けん引時運行速度15 km/h以下

⑦ 運行速度15 km/h以下
主変速 副変速
以下で走行してください。

⑧ 運行速度15 km/h以下
主変速 副変速
以下で走行してください。

120672100021

① 全幅表示ラベル

作業機装着状態で全幅2.50mを超過する場合に使用してください。(本作業機は不要)

② 運行速度表示ラベル

直装式作業機装着状態で最大安定傾斜角度が「道路運送車両の保安基準」に満たない場合に使用してください。

③ けん引式運行速度表示ラベル

けん引式作業機装着状態で最大安定傾斜角度が「道路運送車両の保安基準」に満たない場合に使用してください。(本作業機は不要)

④ 変速段数表示ラベル

運行速度規制がかかる機械でスピードメータなどの速度表示が無い場合に使用してください。

4. 灯火装置および反射器について

トラクタに作業機を装着することで、トラクタに元々備わっている灯火装置が他の交通からの被視認性を確保できなくなってしまう場合、灯火装置を移設または増設することで道路を走行できます。

灯火装置、反射器の位置はトラクタのメーカー、シリーズ、型式により異なりますので作業機を装着して道路走行する場合は、それぞれの機械に合った対応をしてください。

詳細については下記関連情報を確認してください。

・農林水産省HP

作業機付きトラクターの公道走行について
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/kodosoko.html



・(一社) 日本農業機械工業会HP

作業機付きトラクタの公道走行について
<http://www.jfmma.or.jp/kouodo.html>



手入れのしかた

1. 点検・調整および給脂について

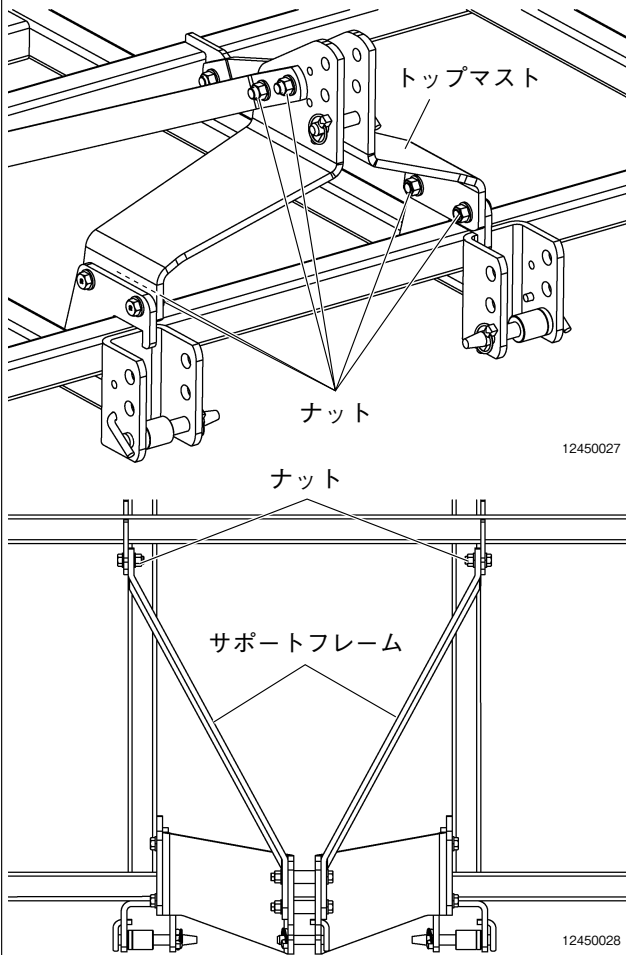
取扱いのポイント

- 作業を始めるまえに点検を行い、必要に応じて給脂および調整を行ってください。

1. 点検・調整箇所

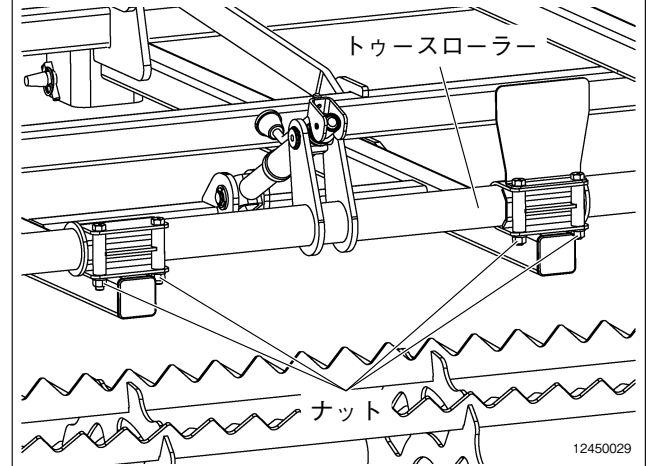
トップmastナット
サポートフレームナット

- ・ゆるんでいないか確認…増締めします。
- ・折損, 変形確認…交換します。



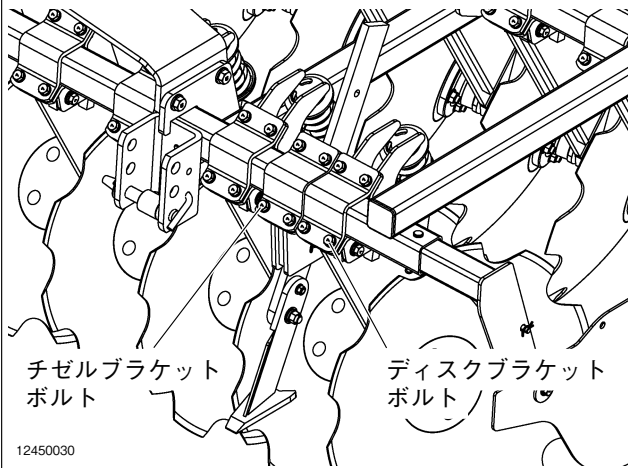
トゥースローラー取付部ナット

- ・ゆるんでいないか確認…増締めします。
- ・折損, 変形確認…交換します。



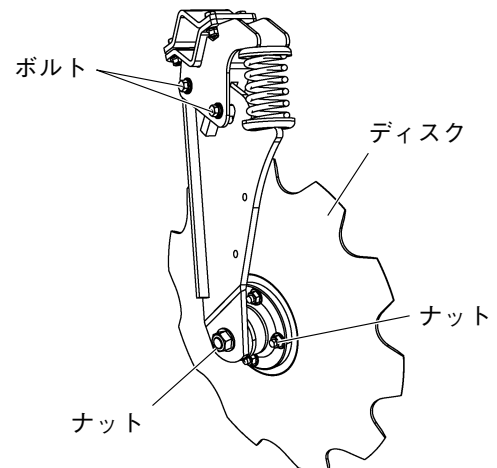
ディスクブラケットボルト
チゼルブラケットボルト

- ・ゆるんでいないか確認…増締めします。
- ・折損, 変形確認…交換します。



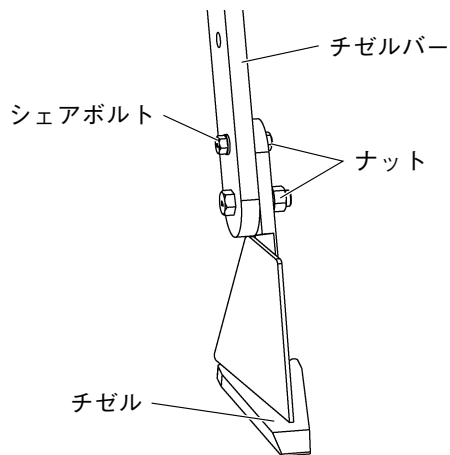
ディスク取付部ボルト・ナット

- ・ゆるんでいないか確認…増締めします。
- ・折損, 変形確認…交換します。



チゼル
チゼル取付部ボルト・ナット

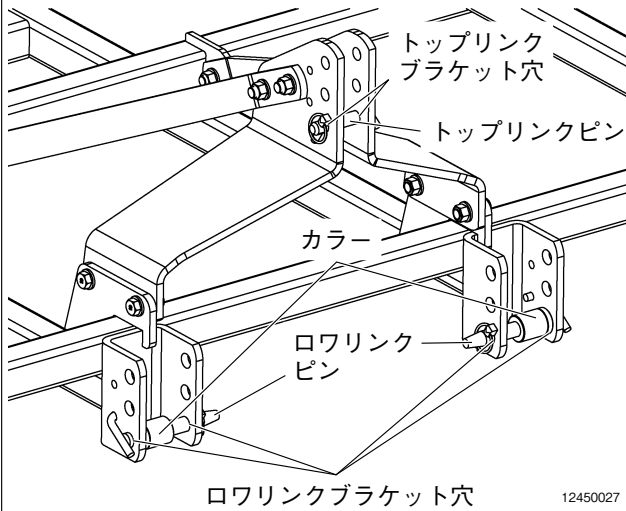
- ・ゆるんでいないか確認…増締めします。
- ・折損, 変形, 摩耗確認…交換します。



2. 給脂箇所

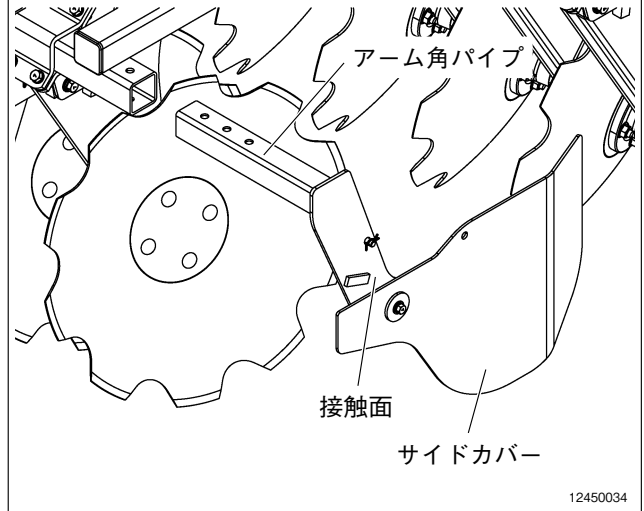
トップリンクピン・トップリンクブラケット穴
ロワリンクピン・ロワリンクブラケット穴・カラー

- ・グリス…摺動部
- ・グリス量…適量給脂



サイドカバー接触面左・右

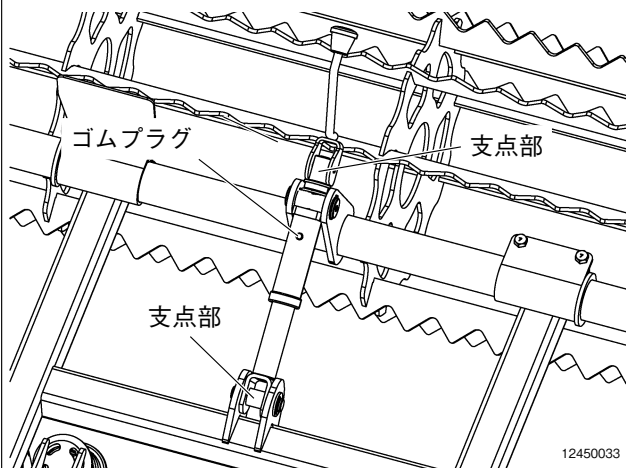
- ・グリス…摺動部, 接触面
- ・グリス量…適量給脂



耕深調整ハンドル

- ・グリス…摺動部, 支点部, ねじ部
- ・グリス量…適量給脂

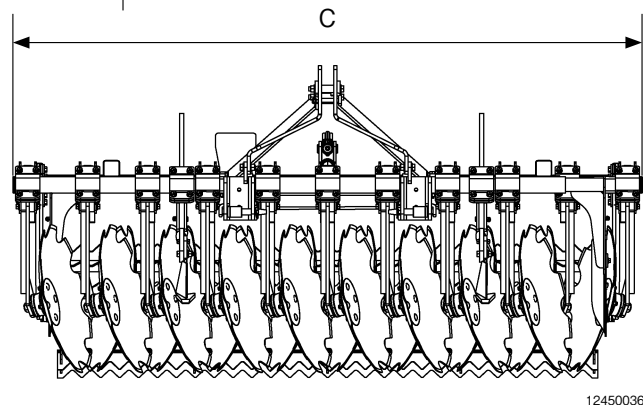
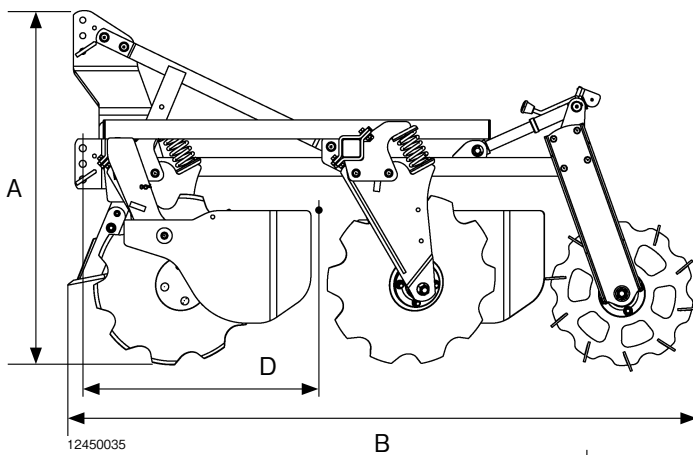
(ゴムプラグを外し, 給脂)



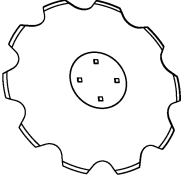
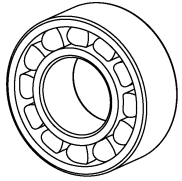
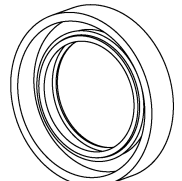

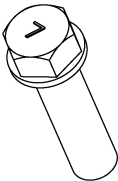
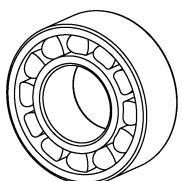
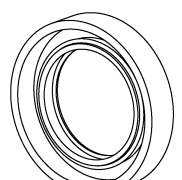
付 表

1. 主要諸元

型 式	MDH1820
適 応 ト ラ ク タ 馬 力 (PS)	45~60
装 着 方 式	標 準 3 点 リンク JIS 0 / I 形
デ ィ ス ク 枚 数 (枚)	18
デ ィ ス ク 径 (mm)	560
作 業 深 度 (mm)	0~150
耕 う ん 幅 (mm)	2000
作 業 速 度 (km/h)	8~10
A 全 高 (mm)	1130
B 全 長 (mm)	2040
C 全 幅 (mm)	2330
D ロワリンクブラケット穴 ~作業機重心 (mm)	780
機 械 質 量 (kg)	722



2. 主な消耗部品

部位	外観形状	部品番号	部品名称	台あたり個数	備考
ディスク部	 12450037-1	1245 0219 000	ディスク	18	φ560
	 12450037-2	1245 0218 000	ベアリング	18	
	 12450039	0840 1355 511	オイルシール	18	
チゼル部	 12450037-3	1245 0287 000	チゼル	2	
	 12450037-4	F154 0110 040	シェアボルト	2	
トウース ローラー部	 12450037-2	1245 0218 000	ベアリング	2	
	 12450039	0840 1355 511	オイルシール	2	

お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは、下記の点を明確にして、お買いあげ先へお問合わせください。

- ご使用機の型式と機械番号(製造番号)は…?

型 式

機械番号(製造番号)

- ご使用状況は…?

(何速で、どんな作業のとき)

- どのくらい使用されましたか?

(約 _____ アール使用后)

- トラブルが発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えください。



どんなに小さなことでも、
お気軽にお問合わせ
ください。

(ご相談窓口) お買いあげ先

TEL ()

三菱マヒンドラ農機株式会社

本 社 〒699-0101 島根県松江市東出雲町揖屋 6 6 7 - 1 ☎ (0852) 52-2111(代)

東京事務所 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 - 1 3 3 - 4 ☎ (0480) 58-7050(代)

販売会社 (販売会社は広域販売会社のみを記載)

三菱農機販売株式会社 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 - 1 3 3 - 4 ☎ (0480) 58-9524

北海道支社 〒066-0077 北海道千歳市上長都 1 0 4 6 ☎ (0123) 22-1234

東北支社 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 3 - 1 - 1 ☎ (022) 207-3711

関東甲信越支社 〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 2 - 1 3 3 - 4 ☎ (0480) 58-9521

中部支社 〒918-8231 福井県福井市問屋町 2 - 3 8 ☎ (0776) 27-3078

西日本支社 〒701-4254 岡山県瀬戸内市邑久町豆田 1 6 1 - 1 ☎ (0869) 24-0820

九州支社 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜 7 - 1 ☎ (0942) 84-1888